

分野：④川の再生（川のゴミについて）

（川のゴミ）

環境アドバイザー

青木 明雄

対象

志木市立宗岡第三小学校4年（55人）

※2クラスあり、1クラスずつ実施

所要時間



1時間30分

場所

志木市立宗岡第三小学校内

実施時期

令和3年5月14日

概要

川のゴミの様子と海での状況について説明

全国川ごみネットワークが、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金企業協働プロジェクト(LOVE BLUE 助成)を受け実施しました。

プログラムの

ねらい

川のゴミの状況や大量のゴミが海を漂流している実態と生き物への影響を知ってもらい、ゴミを減らす生活意識を高めてもらう。

プログラムの内容

以下の内容を、2クラスに行いました。

1. 地図上で場所の確認（5分）

スタッフ紹介に続き、地図を配布して、学校の場所を確認してもらう。

1. ビデオ（5分）

川のゴミの様子。海のゴミが、大量に漂着した海岸の様子。

2. 志木市の川とゴミ（10分）

市内の川についてと川に落ちていたゴミの様子、更に鳥などへの様子をプロジェクターで説明。

3. ごみは新河岸川から隅田川を通り海へ、生きものも困る、ごみを減らすには等（20分）

海のアザラシとイルカがゴミの漁網にかかった時の疑似体験を子供たちに行った。

漁網から抜け出す苦しみを体感してもらった。

4. この授業を受けて、感じたことなど（5分）

この授業を受けて他の人に（家族など）伝えたいことを、カードに書いてもらった。

受講者の反応

全員、極めて関心が高く、常時説明者やビデオから目を離すことはなかった。

感想など、積極的に手を上げて発言してくれた。

終了後、私たちの前に寄ってきて、今度は、親とゴミ拾いをしますなどと言っていました。

とても、前向きに取り組もうという気持ちが、クラス全体に見られた。


環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



分野：自然への愛着

(志木市の自然について)

環境アドバイザー 青木 明雄

対象 志木市立宗岡第四小学校5年（89人） 所要時間  1時間30分

場所 志木市いろは親水公園 実施時期 令和3年12月2日

概要

宗岡第四小学校から、NPO法人エコシティ志木が依頼を受けて、実施。
志木市の自然について、柳瀬川と新河岸川の合流点のいろは親水公園を見て回りながら説明。

プログラムの ねらい

テーマは、「志木市の自然を守りたい」
志木市の自然は、昔と比べてどう変わったのか？川の水はきれいなのか？どんな生き物がいるのか？また、自然に対してNPO法人エコシティ志木では、どんなことをしているのかを知ってもらい、自然を大切にしてもらおう。

プログラムの内容

以下の内容を、2グループに分かれて行いました。

1. 新河岸川の流れを見ながら、川の流れの変化や特徴などを説明
2. 柳瀬川の流れを見ながら、川の流れの特徴や川の生き物などについての説明
3. カヤネズミ原っぱで、オギやヨシの花を観察し、カヤネズミやオオヨシキリなどの生きものがあることの説明。湧水が出ているところの観察。
当会が保全活動として、オオブタクサの抜き取りを行っていることの説明
4. 斜面林を見ながら、台地と低地の間の自然について説明。
湧水が湧き出ている場所の観察。シダ類やここでしか見られない植物がある貴重な場所であることを説明。
この斜面林で行っているエコシティ志木の保全活動について説明
5. この時期としては、冬の野鳥が沢山来ているので、代表的な冬鳥を説明。
当日は、前日の大雨のせいで、野鳥はあまり見られなかったが、写真を見せて説明。

受講者の反応

志木市のハヶ岳自然の家に行ってきたこともあり、自然に対する関心が高かった。
いろは親水公園は、新河岸川と柳瀬川の合流点であり、川の違いの説明では、両方の川からの流れを、よく見ていた。
志木市内では、この場所でしか見ることのできない生き物の話を、興味深く聞いていた。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

